学校番号	3001

令和２年度　環境緑化科

教科	農業	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	造園技術（文部科学省）						
副教材等	造園施工必携（日本造園組合連合会）						

１　担当者からのメッセージ

造園に関するより高度な技術や知識を身に着けるためのステップとして、造園技能検定の取得を自らの課題として主体的に取り組んでいきましょう。学習形態は技術を学ぶ実習と、知識の学習の座学からなります。本科目では初級技術である３級技能検定合格をめざし、２学期以降は３年次に受験できる中級技術の２級造園技能士の取得へのステップアップをめざします。

２　学習の到達目標

・国家資格である造園技能検定の学習を通じて、造園に関する基礎的・基本的な技術・知識を習得する。
・資格習得を通じて、課題や問題に自主的・主体的に取り組みこれを解決しながら目標を達成する意欲・態度を身に着ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・技能
観点の趣旨	初級造園技術者として造園現場で必要な造園に関する技術・知識を持って造園に主体的に取組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	初級造園技術者として造園現場で必要な造園に関する材料・技術を基に、施工作業に携わるものとして適切に判断し、行動できる創造的な能力を身に付けている。	初級造園技術者として造園現場で必要な造園に関する材料・技術を身に付け、与えられた課題の解決にむけ諸作業を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	初級造園技術者として造園現場で必要な造園に関する材料・技術・法規などの分野の体系的な基礎知識を身に着ける。
評価方法	定期試験 実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等	定期試験 実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等	定期試験 実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等	定期試験 実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	初級造園基礎知識（座学） 初級造園施工技術（実習）	庭園史・各種造園材料・施工技術・管理技術 関連法規・安全衛生・ 作業地造成 地割・位置出し 竹垣施工 敷石施工 縁石施工 植栽施工	○ ○	○ ○	 ○	○	a: 造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。 b: 造園全般に関する体系的な知識を持ち、現場で適切に対応する姿が見られる。 c:与えられた課題を解決するために必要な情報を収集し、有用な情報を選択し、活用している。 d:造園施工に関する基礎基本的技術を身につけ、状況を判断して課題を完成できる技能と態度が身についている。	定期試験 実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等
2学期	中級造園基礎知識（座学） 中級造園基礎技術（実習）	庭園史・各種造園材料・施工技術・管理技術 関連法規・安全衛生・ 作業地造成 地割・位置出し 竹垣施工 敷石施工 縁石施工 植栽施工	○ ○	○ ○	 ○	○	a: 造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。 b: 造園に関する体系的な中程度の知識を持ち、現場で適切に対応する姿が見られる。 c:与えられた課題を解決するために必要な中程度の情報を収集し、有用な情報を選択し、活用している。 d:造園施工に関する中程度の技術を身につけ、状況を判断して課題を完成できる技能と態度が身についている。	定期試験 実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等
3学期	中級造園基礎知識（座学） 中級造園基礎技術（実習）	庭園史・各種造園材料・施工技術・管理技術 関連法規・安全衛生・ 作業地造成 地割・位置出し 竹垣施工 敷石施工 縁石施工 植栽施工	○ ○	○ ○	 ○	○	a: 造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。 b: 造園に関する体系的な中程度の知識を持ち、現場で適切に対応する姿が見られる。 c:与えられた課題を解決するために必要な中程度の情報を収集し、有用な情報を選択し、活用している。 d:造園施工に関する中程度の技術を身につけ、状況を判断して課題を完成できる技能と態度が身についている。	定期試験 実習活動の観察 （態度、技術習得） 実習のまとめノート 自己評価等

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。